

大久野通信 vol.12

憩いの時間



暦の上では夏もそろそろ終盤ですが、大久野倶楽部の活動拠点は依然猛暑続きです。「実際に汗をかいて自社製品を評価しよう！」と始めた農業実証ですが、週末限定の活動なので灼熱の日中も貴重な作業時間です。経口補水液を一気飲みすることもしばしば。ただ、辛いことばかりではありません。収穫した野菜でバーベキューをして地元の方々と交流したり、季節の花や果樹を育てて心を癒したり。今回は、こうした活動を中心に紹介します。

INDEX

- ・真夏のバーベキュー・イベント
- ・真夏の花弁たち
- ・桃源郷に向けて
- ・今後の展望

真夏のバーベキュー・イベント

大久野通信の配信を始めて約1年、お陰様で社外の方々にも読者の輪が広がっております。都会を離れ自然に触れる、そこでの活動を通して将来の在り方を模索する、こうした活動に対して、特に若い方々が関心を持ってくれます。猛暑下の8月初旬、訪問を希望されていたお2人をお誘いし、収穫を体験してもらい、バーベキューを楽しむイベントを開催しました。夏野菜定番の茄、ピーマン、ゴーヤ、変わり種で空心菜、特に空心菜入りの焼きそばは高評でした。初挑戦のスイカも市販品に劣らず美味でした。畑の恵みを味わいながら日本の将来について語り合う、何とも贅沢な憩いの時間を堪能しました。



バーベキュー・イベント



立派なスイカ

真夏の花弁たち

花々を愛でると時に心が癒される、猛暑での作業に疲れたときに、ふとそんな感情が芽生えました。活動拠点では、現在ひまわりが出迎えてくれます。また、桃や柑橘類の果樹も試験的に栽培しており、この夏には可憐な桃の花に癒されました。桃栗三年とは言われますが、初年から小さな実も成りました。中国で桃は仙果と呼ばれ、縁起が良いもの、長寿の食べ物だそうです。果たして、我々の里山が「桃源郷」となる日が来るのか、期待に胸を膨らませています。



出迎えのひまわり



可憐な桃の花



予想外の結実

桃源郷に向けて

桃源郷への道のりには、自生する植物の管理が避けられません。活動拠点では、廃竹由来の竹粉と竹炭を管理資材として活用しています。蔓延る植物を根から排除して、これらの資材を撒くのですが、桃の木周りには竹炭を用いました。RBSゴールドは窒素、リン酸成分は豊富なのですが、カリ成分が不足しています。竹炭にはカリ成分が多く含まれますので、竹炭を撒いて一石二鳥を狙います。



管理前の桃畑



竹炭を施工した桃畑

今後の展望

里山が桃源郷になるかはさておき、農業実証は夏野菜から冬野菜への切り替え時期を迎えています。RBSゴールドによって土質がどの様に推移するかは継続してモニタリング中です。また、作物の食味に関する定量評価にも取り組んでいます。窒素成分が豊富なRBSゴールドを肥料に用いると、硝酸イオン濃度が高くなることも判ってきました。葉物野菜ですと、味が濃くなる様です。植物は、有害物質や害虫から身を守る術として、様々な化学物質を生み出します。苦みや辛み、粘着物、独特の匂いなどがそれであり、ファイトケミカルと言われるそうです。人体にも良いとされる物質ですね。RBSゴールドで育てた野菜でそれらの成分を増やす働きが有るのか、今後調査していきます。あと1ヶ月ほどで、紅はるかの収穫時期となります。また、新たに取組んだ落花生もそれに続きます。秋の収穫イベントは10月ごろかな、そんなことを考える大久野倶楽部です。